

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

総務部総務課長 藤井徹

電話番号

0852-22-5011

事務事業の名称	公立大学法人島根県立大学特殊要因経費補助金	
目的	(1) 対象	公立大学法人島根県立大学
	(2) 意図	法人の自律的な運営を促しつつ、財務上の健全性を保つ
事業概要	公立大学法人島根県立大学における施設設備のうち、緊急かつ大規模な修繕、更新等を要するものに対して補助する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 公立大学法人島根県立大学業務実績に対して公立大学法人評価委員会が行う年度評価の評定平均値	目標値		3.50	3.50	3.50	3.50	点
		取組目標値						
	式・定義 各年度の評定値（1～5）の合計／年度計画項目数	実績値	3.50					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	63,059	60,000
うち一般財源 (千円)	4,759	60,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成27年度は松江キャンパス2号棟のエレベーター新設工事を実施した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

松江キャンパスの2号館にエレベーターを設置したことにより、バリアフリー化の問題が解決されるとともに、学生の就学環境が改善された。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

松江キャンパスの施設・設備の老朽化等に対する対応

②困っている状況が発生している「原因」

築後30～40年近く経過していること、適切な維持管理体制が整備されていない

③原因を解消するための「課題」

- ・ 日常の点検及び適切な維持管理による施設・設備の長寿命化
- ・ 計画的な修繕計画

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

維持保全計画に沿った点検、適切な維持管理及び計画的な修繕業務を実施していく。

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）